

第9回 日本安全運転医療学会学術集会のご案内

大会長 玉井 顯

医療法人敦賀温泉病院

1. はじめに

敦賀は、古来より交通ネットワークの要として栄えた地であり、鯖街道や北前船の寄港地、鉄道の要衝として重要な役割を果たしてきました。昨年、新幹線も敦賀まで開通し、さらにアクセスがよくなりました。この歴史ある地で本学術集会を開催できますことを、大変光栄に思います。

2. 開催期日、開催場所と開催形式

2025年11月28日（金）～29日（土）の2日間、福井県敦賀市のプラザ萬象にて現地開催の予定です。

3. テーマ、内容

本学術集会では、「地域のネットワークづくりから始まる安心・安全な交通社会」をテーマに掲げ、高齢者、特に認知症における問題点を脳科学から地域・県・国・世界に至るまで、あらゆるレベルでの交通ネットワークのあり方を考えます。

私たちが運転について考える際、まず注目すべきは脳のネットワークです。運転は、視覚・運動・記憶・判断など多くの脳機能が連携して成り立つ行為であり、そのメカニズムを理解することは、運転適性の評価や安全運転支援の発展に不可欠です。高次脳機能や脳内ネットワークの基礎を学び、運転に関する脳の働きを整理するセッションを設けます。

次に、運転を支える地域のネットワークに焦点を当てます。運転適性の評価や認知症と診断された際の対応は、本人や家族だけでなく、認知症疾患医療センター・警察署・自動車教習所・自治体・公共交通機関などの連携が重要です。特に地方では、免許返納後の移動手段が限られ、買い物や通院が困難になる問題も深刻です。敦賀市で展開されている運転支援ネットワーク作りの現状と課題について議論したいと思います。

4. 予定

本学術集会ホームページを2025年4月1日に公開しました。6月より演題募集や参加登録など開始予定です。早期参加登録により、参加費の割引や観光シーズンで宿泊の確保が難しいことが予想されますので、参加登録にあわせて宿泊の予約もできるように考えています。

医療関係者、自動車関連企業、研究者、行政関係者、法律家など、多職種の専門家が一堂に会し、最新の知見を共有しながら未来の交通社会を考える貴重な機会です。運転に関わるすべての皆様のご参加、研究成果のご発表を、スタッフ一同心よりお待ちしております。

第9回 日本安全運転医療学会学術集会



**地域のネットワークづくりから始まる
安心・安全な交通社会**

会 期 2025年11月28日(金)～29日(土)
大 会 長 玉井 顯 (医療法人敦賀温泉病院)
会 場 プラザ萬象 (福井県敦賀市東洋町1番1号)
大 会 事 務 局 第9回日本安全運転医療学会学術集会 運営事務局(医療法人敦賀温泉病院)
Mail : untentsuruga2025@gmail.com